

ふじなわ 喜和

2014.11 よしかず
No.28
発行：ふじなわ喜和
鳥取市湖山町北4丁目812
TEL&FAX 0857-28-2795

とっとり情熱がわら版

●県議会だより●



自由民主党 谷垣幹事長と

皆様方におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素よりふじなわ喜和の議員活動に絶大なるご支援とご理解を賜り、心からお礼を申し上げます。

さて、このたび県議会の活動報告「かわら版28号」を発行いたしました。三期目の締めくくりの年の、はつらつと活動している姿を見ていただければ幸いです。引き続き県民の皆様のために一所懸命精進し、活動して参ります。

今後ともご指導ご支援の程お願い申し上げます。

鳥取県議会議員

県議会自民党政調会長
自民党県連政調会長

ふじなわ喜和

よしかず

原発30キロ圏内の周辺自治体にも財源措置

鳥取知事求める方針

鳥取県の平井伸治知事は19日の県議会本会議で、中国電力島根原発（松江市鹿島町片匂）の半径30キロ圏の同県など周辺自治体には、立地自治体にある核燃料税などの財源措置がないとして、中電や国に周辺自治体への措置を求める方針を示した。

平井知事は、周辺自治体

の担当職員の人件費などに国の財源措置がないことを疑問視。島根県の溝口善兵衛知事が島根原発の核燃料税について、鳥取側を含む30キロ圏6市への交付金配分を検討する考えを示しているのを念頭に、核燃料税に言及し「県境をまたぐ鳥取側への配分がどうなるかは分からない。それに見合う財源をどうするか、中電にも国にも考えてもらわないといけない」と述べた。

自民党の藤縄喜和議員の代表質問に答えた。

周辺自治体の鳥取県が得られる国の関連交付金は、モニタリングポスト設置など原子力防災対策整備には使えるものの、担当職員の人件費などは賄えない。立地自治体の島根県は自主財源の核燃料税を中電から徴収し、松江市は地域振興に使える電源立地地域対策交付金を国から得ている。

2014.7.23 日本海新聞

再認定へ環境保全など強化

山陰海岸ジオ推進三府県議会議員の会

「山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会」（会長・藤縄喜和鳥取県議）は22日、京都府京丹後市の同市役所丹後庁舎で本年度総会を開いた。9月の世界ジオパークネットワーク再審査を含め、さらなる発展を目指し

てPRや各種活動への支援を強化していくことを確認した。

鳥取、兵庫、京都の3府県議11人と、各府県の担当者らが出席。世界再認定に向けて環境保全や教育への活用を取り組みに力を入れるほか、「山陰海岸ジオパーク110キロネットワーク」の定着化を図ることなどについて話し合った。

このほか、山陰海岸ジオパーク推進協議会に対し、ジオパーク全体の価値や知名度の向上を図るため、ユネスコの正式プログラム化を国に働き掛けるよう求める項目を盛り込んだ要望書を提出した。



山陰海岸が再認定

世界ジオパーク

鳥取西部にエリア拡大



世界ジオパークネットワーク(GGN、本部・パリ)は23日午前(現地時間22日夜)、世界的に貴重な地形や地質が残る「世界ジオパーク」に、鳥取、兵庫、京都の3府県にまたがる山陰海岸ジオパークを再認定した。カナダでの国際会議で発表された。エリアの西端だった鳥取市・白兔海岸からさらに西に約10キロの同市青谷町までの地域を加える認定エリア拡大も決定。同町内では関係者約100人が朗報を祝った。

山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク再認定を喜び、万歳三唱する平井伸治鳥取県知事(左から4人目)ら。鳥取市青谷町青谷、市青谷町総合支所(3、25面に関連記事)



山陰海岸ジオパークのエリアに加わった「鳴り砂」の海岸・井手ヶ浜。鳥取市青谷町井手

「ジオの目玉になる」

平井知事 財政支援など検討

鳥取市の湖山池で民間業者がことし10月をめどに進めている観光遊覧船の就航計画について、鳥取県の平井伸治知事は24日の本会議で「ジオパークの一つの目玉商品になる」と期待。県として手続きに協力し、桟橋設置に関する財政支援などで

支援する考えを示した。藤縄喜和議員(自民党)の一般質問に答えた。平井知事は「湖山池は角度によって風景が異なり、水彩画のように島が点在。他にない自然空間がコンパクトに詰まっている」と池の魅力を指摘。「美しい自然景観を生かし遊覧船を就航させる計画

池の周辺には天神山や防己尾城など城跡もあり、「巡り歩くような形で遊覧する船は願ってもない観光資源になる」とし、計画実現に向けて市と協力して支援するとした。

は大きな挑戦」と評価した。

山陰海岸ジオパークは鳥取市から京都府京丹後市まで3府県の6市町にまたがる東西約110キロ、面積2186平方キロの地域。リアス式海岸の浦富海岸(鳥取県岩美町)や鳥取砂丘(鳥取市)などから、2500万年前にさかのぼる日本海の形成過程を知ることができる地質遺産として、2010年10月にGGN加盟が認定された。

山陰海岸ジオパーク推進協議会(会長・中貝宗治兵庫県豊岡市長)が1月、1943年の鳥取地震でできた鹿野断層や「鳴り砂」で知られる井手ヶ浜などを含む鳥取市西部地域を加えるエリア拡大を申請。8月には4年ごとの再認定の審査を受けた。

エリア拡大で同ジオパークは東西約120キロ、面積2458平方キロとなった。鳥取県の平井伸治知事は「エリア拡大で厚みが増えた山陰海岸ジオパークの国際リゾート化を目指していきたい」と観光資源としての魅力アップを喜んだ。

○：来年4月に2期目の任期満了を迎える鳥取県の平井伸治知事が19日の県議会本会議で、進退の判断は未定としながら、今後の県政のテーマに安倍政権が取り組む「地方創生」を挙げ「鳥取県は地方創生のモデルとなるべき歴史的使命がある。私なりに責任も感じる」と県政運営への意欲をにじませた。

平井知事、続投意欲ちらり

○：自民党の代表質問で藤縄喜和議員から「鳥取県にとって平井知事存在は欠かせない。引き続き、県政に当たっていただきたい」と請われ、自席で頭を下げた平井知事。答弁では

片山善博前知事時代と対比させながら、2期の県政運営を自質し「今後のステップが県政の正念場」と強調した。

○：来春の知事選は、平井知事が立候補する場合に共産党が対抗馬擁立を検討する構えだが、ほかにも動きはなく、平井知事の進退が焦点。本会議休憩中に報道陣に囲まれると、11月3日まで県内で開催中の全国障がい者芸術・文化祭などに専念すると説き、進退決断は「県民に迷惑の掛からない時期。そう遠い将来ではない」と、関心をあおった。



↑2014.9.19 会派「県議会自由民主党」を代表して代表質問をおこなう。



山陰海岸ジオパーク推進府県議会議員の会長として湖山池遊覧船就航セレモニーで挨拶



鳥取県水泳連盟会長として強化合宿を激励(舞鶴)